

【復習】

敬語には、ていねい語、尊敬語、けんじよう語があります。

ていねい語 ↓ 「です」「ます」「ございます」など
尊敬語 ↓ 「いらっしゃる」「いる・来る・行く」

「おっしゃる」「言つ」
「くださる」「くれる」
「お(ご)——になる」
「——れる(される)」
「お」や「ご」を付けた言い方など
けんじよう語 ↓ 「うかがう」「行く・たずねる・聞く」
「いただく」「食べる・もらう」
「お(ご)——する」という言い方など

【練習】

次の——の言葉を()の敬語を使った言い方に書き改めましょう。

①夏休みに山へ行つた。(ていねい語)

②教頭先生が言つた。(尊敬語)

③先生は、今、職員室にいる。(尊敬語)

④図工の作品で賞をもらった。(けんじよう語)

⑤校長先生に聞きたいことがあります。(けんじよう語)

答え

①夏休みに山へ行きました。
②教頭先生が「おっしゃつた。」

言われた。

③先生は、今、職員室に「いらっしゃる。」
おられる。

④図工の作品で賞をいただきました。
⑤校長先生に「うかがいたい。」
お聞きしたい。ことがあります。

【復習】

漢語…古くに中国から日本に入った言葉や日本で漢字を組み合わせて作った言葉
で音で読む言葉

(速度・相当・混雑) など

和語…もともと日本にあった言葉で、漢字の場合は訓で読む言葉

(速さ・かなり・混み合う) など

【練習】

次の言葉の漢語と和語の読み方をそれぞれ書きましよう。

①年月

和語	漢語
イ.	ア.

②草原

和語	漢語
エ.	ウ.

③見物

和語	漢語
カ.	オ.

④昨日

和語	漢語
ク.	キ.

⑤上下

和語	漢語
コ.	ケ.

⑥市場

和語	漢語
シ.	サ.

答え

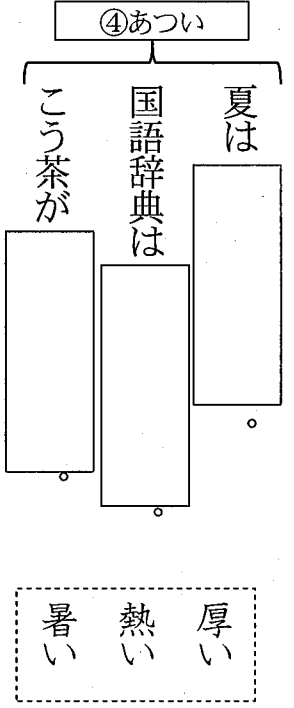
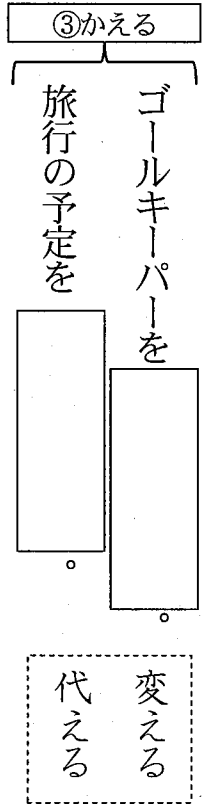
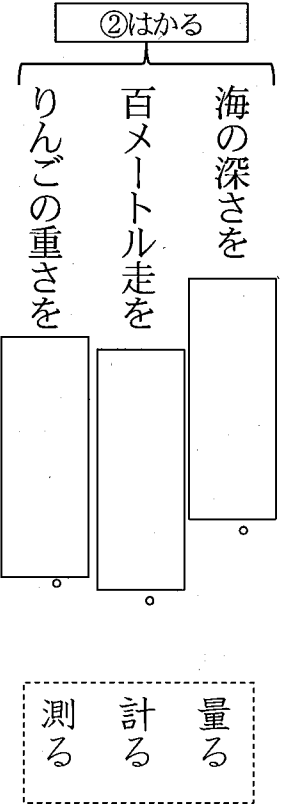
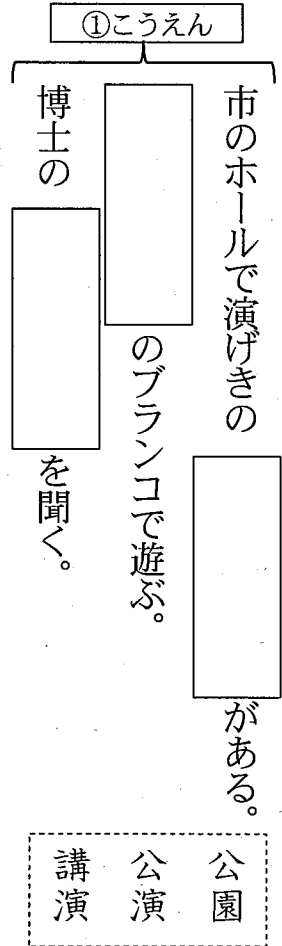
- ア. ねんげつ
- イ. としつき
- ウ. そうげん
- エ. くさはら
- オ. けんぶつ
- カ. みもの
- キ. さくじつ
- ク. きのう
- ケ. じょうげ
- コ. うえした (かみしも)
- シ. いちば
- サ. しじょう

【復習】

病気を治す。↑ 病気やけががよくなるときに使う。
間ちがいを直す。↑ 間ちがいを正しくしたり、しゅう理したりするときを使う。

【練習】

次の [] に合う漢字を [] から選んで書きましょう。



答え

- ① 公園 公演 講演
- ② 測る 計る 量る
- ③ 代える 変える
- ④ 暑い 厚い 熱い

【復習】

二つ以上の言葉が結びついてできた言葉を複合語といいます。

飛ぶ＋去る↓飛び去る

「ぶ」が「ひ」に変わるよ。



あまい＋すっぱい↓あますっぱい

「い」はなくなるよ。「す」が「ず」に変わるよ。



【練習】

二つの言葉を結びつけて複合語を作りましょう。

(例) 飛ぶ＋上がる↓飛び上がる

① 暑い＋苦しい↓

Blank box for the answer to problem 1.

④ 細い＋長い↓

Blank box for the answer to problem 1.

② 持つ＋上げる↓

Blank box for the answer to problem 2.

⑤ 降る＋続く↓

Blank box for the answer to problem 2.

③ 受ける＋持つ↓

Blank box for the answer to problem 3.

⑥ 話す＋合う↓

Blank box for the answer to problem 3.

二つの言葉をつなげて複合語を作りましょう。

() には、読みがなも書きましょう。

① 米＋俵↓

Blank box for the answer to problem 4.

④ 船＋旅↓

Blank box for the answer to problem 4.

② 雨＋雲↓

Blank box for the answer to problem 5.

⑤ 白＋波↓

Blank box for the answer to problem 5.

③ 風＋車↓

Blank box for the answer to problem 6.

⑥ 雪＋合戦↓

Blank box for the answer to problem 6.

答え

一

- ① 暑苦しい
- ② 持ち上げる
- ③ 受け持つ

二

- ① 米俵 (こめだわら)
- ② 雨雲 (あまぐも)
- ③ 風車 (かざぐるま)
- ④ 船旅 (ふなたび)
- ⑤ 白波 (しらなみ)
- ⑥ 雪合戦 (ゆきがっせん)

【復習】

「鼻血」の「血」は「ち」と書くね。
だから、「鼻血」は、「はなぢ」ではなくて、
（はな
）だよね。

「三月月」の「月」は「つき」と書くね。
だから、「三月月」は、「みかずき」ではなくて、
（みか
）だよね。



「地面」は、「じめん」と書くよ。
「みずから（自ら）」
「みずうみ（湖）」な
どは、正しく覚えて
書こう。

【練習】

次の漢字に読みがなを書きましよう。「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」に気をつけて
書きましよう。

① 預ける
ける

② 身近
ん

③ 気付く
く

④ 小包
こ

⑤ 手作り
り

⑥ 築く
く

⑦ 地しん
しん

⑧ 底力
ち

答え

【復習】

（はなぢ）
（みかづき）

【練習】

- ① みずから（自ら）
- ② みづから
- ③ みづうみ（湖）
- ④ こ
- ⑤ つき
- ⑥ ち
- ⑦ じ
- ⑧ ぢ

【復習】

主語 ひまわりが きれいに さく。
主語

主語 ぼくが 世話したので、 ひまわりが きれいに さいた。
主語 述語 述語 述語

一つの文に、主語と述語の
関係が二組ある文もあるよ。



【練習】

次の文には、主語と述語の組み合わせが二組あります。例のように、主語に――、
述語に――を引いて矢印「↓」でつなぎましょう。

(例) 少しづらいの 雨が ふっても、 私たちは 遠足に 行くだろう。
主語 述語 主語 述語

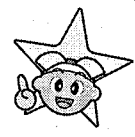
① ぼくは ジュースを 飲み、 母は コーヒーを 飲む。

② ぼくが ホームランを 打ったが、 ぼくの チームは 負けた。

③ 祖母は ねこを かつていて、 その ねこは わたしに なついている。

④ わたしは、 姉が バスを おりるのを見た。

④ができたら、
すげーよー！



【答え】

① ぼくは ジュースを 飲み、 母は コーヒーを 飲む。
主語 述語 主語 述語

② ぼくが ホームランを 打ったが、 ぼくの チームは 負けた。
主語 述語 主語 述語

③ 祖母は ねこを かつていて、 その ねこは わたしに なついている。
主語 述語 主語 述語

④ わたしは 姉が バスを おりるのを見た。
主語 述語

【復習】

はがきのあて先の書き方

- 「様」……………個人に出す場合
- 「御中」……………会社や団体に出す場合
おんちゆう
- 「行」……………自分あての返信はがきを相手に送る場合

【練習】

田中ゆみさんが、はがきを書きます。①～④のようになるときに、はがきのあて先をどのように書けばよいでしょうか。() に書きまじょう。

①

郵便はがき

7 9 9 9 9 9 9

岡山県岡山市中央区二丁目二二三

岡山県立科学館()

岡山市西区中町五―六

田中ゆみ

7 8 8 8 8 8 8

③

郵便はがき

7 8 8 8 8 8 8

岡山県岡山市西区中町五―六

田中ゆみ()

返信

7 8 8 8 8 8 8

②

郵便はがき

7 9 9 9 9 9 9

岡山県岡山市中央区五丁目一―五

大西和人()

岡山市西区中町五―六

田中ゆみ

7 8 8 8 8 8 8

④

郵便はがき

7 9 9 9 9 9 9

岡山県岡山市中央区五丁目一―五

大西和人(様)

返信

岡山市西区中町五―六

田中ゆみ

7 8 8 8 8 8 8

答え

- ① 御中
- ② 様
- ③ 行
- ④ 様

【復習】

手紙の形式

- ① 頭語…始めのあいさつ、「拝啓」など。
- ② 前文…季節の言葉やお見まいの言葉、近ごろの様子をたずねる文を書く。
- ③ 主文…その手紙で伝えたいことを書く。
- ④ 末文…手紙の終わりに、相手の健康を気づかう言葉などを書く。
- ⑤ 結語…頭語と対になる言葉を書く。「敬具」など。
- ⑥ 後付け…日付・自分の名前・相手の名前の順で書く。

【練習】

次の手紙の [] に書くことを

[] から選んで書きましよう。

先日は、学区に生息するホタルについて教えてくださってありがとうございました。写真やビデオを使って説明してくださったので、ホタルのことがとてもよくわかりました。「ホタルを守る会」のみなさんが草かりをしたり川そうじをしたりしてホタルが住みやすい環境をつくっておられることを知りました。六月になってホタルを見に行くのを楽しみにしています。これからは、ぼくも自然を大切にしてホタルを守っていききたいと思います。

--	--	--	--	--	--

田中一夫様
五月二十日
小川直樹

お体に気を付けて、また、ホタルのお話を聞かせてください。

日中は、少しあせむほどの季節となりました。田中さんはいかがお過ごしですか。

お体に気を付けて、また、ホタルのお話を聞かせてください。

答え

拝啓

日中は、少しあせむほどの季節となりました。田中さんはいかがお過ごしですか。

(中略)

お体に気を付けて、また、ホタルのお話を聞かせてください。

敬具

五月二十日

小川直樹

田中一夫様

【復習】

「寄」は、「き」「よ(せる)」と読みます。「寄港」は、
「港」は、「こう」「みなと」と読みます。) 「寄港」は、
() と読みます。

【練習】

一 次の漢字の——の読み方を□□に書きましよう。

①	燃やす	燃料	やす	やす
④	断る	油断	る	

②	独り	独特	り	
⑤	過ぎる	過去	る	

③	増やす	増量	やす	
⑥	肥える	肥料	える	

二 次の漢字の——の読み方を□□に書きましよう。

①	易しい問題				⑥	人工衛星			
②	清潔にする。				⑦	絶え間ない。			
③	身構える。				⑧	河原を歩く。			
④	店が混雑する。				⑨	救護する。			
⑤	承知する。				⑩	班長を任される。			

【復習】	きこう	①	ねんりょうち
【練習】		②	へんごんひと
		③	ぞうりょうひ
		④	ゆだんごた
		⑤	かごす
		⑥	ひりょうご
		①	ちぎ
		②	せいけつ
		③	みがま
		④	こんざつ
		⑤	しやうち
		⑥	えいせい
		⑦	た
		⑧	かわち
		⑨	きゆうご
		⑩	まか

【復習】

() (往復) 「おうぶく」の「ぶく」は、じぎりが正しいでしょう。
() (往復) 正しい方に○を書きましよう。

【練習】

一 次の漢字の太い部分は何画目に書きますか。

- ① 常 () 画目 ② 版 () 画目 ③ 罪 () 画目

二 送りがなの正しいものを選んで [] にアウの記号で答えましよう。

① 成功にみちびく。

[]
ア 導びく
イ 導く
ウ 導ちびく

③ 本番にそなえる。

[]
ア 備なえる
イ 備える
ウ 備える

② すずしくてこころよい。

[]
ア 快い
イ 快よい
ウ 快ろよい

④ 時刻をたしかめる。

[]
ア 確める
イ 確る
ウ 確かめる

三 次の ———— の言葉を漢字で [] に書きましよう。送りがなが必要なものもああります。

① しろをきずく。

[]

⑥ せいせきが上がる。

[]

② 家にしよたいする。

[]

⑦ せきにんをもつ。

[]

③ 栄養がほうふだ。

[]

⑧ 店をいとなむ。

[]

④ きんぞくをとかす。

[]

⑨ クイズをとく。

[]

⑤ なさけをかける。

[]

⑩ じょうほうを
集める。

[]

答え

【復習】
○ () 往復
○ () 往復

【練習】

一
③ ② ①
十五二

二
② ①
アイ
④ ③
ウウ

三
⑤ ④ ③ ② ①
情金豊招築
け属富待く
⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥
情解営責成
報くむ任績

